事業番号	06 02 03	事業改善シート	(令和元年度実施事業分)	ㅁ븰	á初要求	口当初	予算案	■補正予算案	□点検
事業名	地球温暖化適応策推進事業費		部局	環境部		課∙室	環境エネル	ギー課	
尹 未 石			実施期	間 H27 ~ E		E-mail kankyoene@pref.nagano		agano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)									
8つの重点目標 再生可能エネルギー自給率									
総合的に展開 重点政策]する 4-5 地球∃ i	環境への貢献							
-									

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	・既に県内でも気候変動の影響が発現し始めており、気候変動の緩和策とともに適応策の推進が必要。 ・適応策の推進にあたっては、気候変動による幅広い分野への将来的な影響を詳細に把握していないこ	令和元年度 補正後額	37,771 千円
	とと、影響に応じた適応技術(施策)が開発(立案)されていないことがボトルネック。 ・H28年度までに、気候変動とその影響の観測、予測、情報共有を行う体制を構築。	職員数	6.00 人

目指す姿

・気候変動適応法に規定される地域気候変動適応センターを設置し、既存の信州・気候変動モニタリングネットワーク及び信州・気候変動適応プラットフォームを包括し取組を強化することで、各主体における適応策の創出を促し、気候変動の影響による県民生活や自然環境等への被害を最小化あるいは回避する。

(主な実施内容:都市・山岳部の気象観測・データ収集、2030年代の気候変動予測・影響分析、予測・分析結果の情報共有、適応策に係る課題の検討)

	区	分(単位:千円)	29年度	30年度	元補正後
		前年度繰越	0	0	0
	予質	当初予算	9,583	7,942	47,895
事	予算額	補正予算	-2,483	-842	-10,124
╨		合計(A)	7,100	7,100	37,771
業		一般財源			
П	Aσ	県 債			
ス	財》	原 国庫支出金	ž		
^		その他	7,100	7,100	37,771
7	決	算 額(B)	7,014	7,021	
		算 職員数(人)	3.5	3.5	6.0
	費		28,357	28,357	49,308
	概算	事業費(B(A)+C	35,371	35,457	87,079

		指標及びその達成状況								
N	lo	成果指標	29年度末	30年度末(見込)	令和元年度					
IN	10	八木 旧 伝			目標値	成果	達成状況			
		気候変動を予測するための気 象情報の収集地点数(累計)	134地点	201地点	270地点					

成果指標 設定理由

適応策の検討には精度の高い予測が重要だが、気温、降水量などの気象情報の収集数は気候変動の予測精度の向上に大きく寄与するため

補正により取り組む

事業内容

環境省「環境研究総合推進費」及び文部科学省「気候変動適応技術社会実装プログラム」 の事業費減少に伴う事業 見直しによる減 △10,124千円

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円

2	2 事業を構成する細事業の内容 (単位								
NI.	細事業名	令和元年度 実施内容(予定)		職員数	令和元年度				
No	神争未石			(人)	(補正前)	(2月補正)	(補正後)		
1	地球温暖化適応策推進事業	・気候変動影響の把握のため、信州・気候変動モニタリングネットワークにおいて都市・山岳部の気象観測・データ収集及び2030年代の気候変動予測・影響分析を実施・適応技術(施策)の開発(立案)を促進するため、信州・気候変動適応プラットフォームにおいて、観測・分析結果の情報共有及び適応策に係る課題の検討を実施・気候変動に関する情報の収集・分析・提供を行う信州気候変動適応センター(仮称)を設置し、上記取組に加え、市町村支援等を行い、適応策の創出を支援			47,895	-10,124	37,771		
			合計	6. 00	47,895	-10,124	37,771		